

宮城県感染症発生動向調査情報(第16週)

宮城県【平成26年04月24日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.4.14 ~ 4.20 ・ 第16週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所					仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第13週	第14週	第15週	第16週
水痘	4 0.80	5 0.50	2 0.40	3 1.50				13 0.50	27 0.47	793	○→	○→	レ→	○
流行性耳下腺炎		1 0.10	1 0.20					7 0.27	9 0.16	182	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	61 12.20	104 10.40	23 4.60	22 11.00	5 1.67	5 1.00	11 5.50	190 7.31	421 7.26	7,943	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病											→	→	→	
伝染性紅斑	1 0.20	9 0.90	12 2.40	1 0.50	2 0.67	1 0.20		22 0.85	48 0.83	583	○→	○→	○→	○
突発性発しん	4 0.80	7 0.70	9 1.80	3 1.50	3 1.00	6 1.20	3 1.50	13 0.50	48 0.83	515	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ			1 0.20						1 0.02	4	→	→	→	
インフルエンザ	101 12.63	102 6.80	32 4.00	25 8.33	34 6.80	72 9.00	86 21.50	196 4.67	648 6.97	27,388	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱						3 0.60		6 0.23	9 0.16	129	→	→	→	
流行性角結膜炎		3 1.00						1 0.17	4 0.33	32	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14 2.80	28 2.80	13 2.60	8 4.00	1 0.33	20 4.00		43 1.65	127 2.19	2,187	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.20	1 0.08	6	→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00			8 8.00	1 0.20	11 0.92	134	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		1 0.10	1 0.20					8 0.31	12 0.21	258	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		3 2		1 1			8			◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病	2		1							【通報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
	不明発疹症							4						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※			1				3		32				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
2類感染症: 結核
仙南管内 男性1名、女性1名
気仙沼管内 男性1名(第14週)
仙台南管内 男性2名、女性1名(第15週)
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(OUT)
登米管内 男性1名
4類感染症: 報告なし
5類感染症: クリプトスポリジウム症
仙台管内 男性1名
侵襲性インフルエンザ菌感染症
仙台管内 女性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
石巻管内 女性1名(第15週)
梅毒
仙台管内 女性1名(第15週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 7例

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 — 【インフルエンザ】

仙南、気仙沼管内で注意報を超えた
県内の患者数は、第11週をピークとして4週連続で減少していましたが、今週患者数の増加がみられました。この時期の流行の主流であるB型に加えA型の流行もみられることから引き続き注意が必要です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

- 感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第13週採取分 ノロウイルスG II 1件
第14週採取分 ノロウイルスG II 2件
感染性胃腸炎集団発生事例より
仙南管内 第16週採取分 ノロウイルスG II 1件
岩沼管内 第16週採取分 A群ロタウイルス 3件

～仙台医療センターウイルスセンター～

- | | 第14週採取分
(3.31~4.6) | 第15週採取分
(4.7~4.13) | 第16週採取分
(4.14~4.20) |
|---|-----------------------|-----------------------|------------------------|
| インフルエンザA定
点とは、小児科定
点と内科定点を合
わせたもので、県
全体で93定点(県:
51、仙台市:
42)となってい
ます。 | インフルエンザウイルスAH1pdm 2件 | 1件 | 0件 |
| | インフルエンザウイルスB 2件 | 0件 | 0件 |
| | インフルエンザウイルス(解析中) 0件 | 2件 | 7件 |
| | RSウイルス 2件 | 2件 | 1件 |
| | サイトメガロウイルス 1件 | 0件 | 0件 |

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2014年 第10週	18.3	40.8	21.7	1.9	2.8	5.7	3.9	2.6	1.3	0.5	0.5	3,626
第11週	18.4	43.4	20.1	2.5	2.0	4.2	4.0	2.2	2.1	0.7	0.4	3,704
第12週	21.6	42.0	19.4	1.9	1.8	4.4	3.7	2.7	0.9	0.7	0.8	2,736
第13週	21.5	36.0	17.1	2.5	2.6	7.9	5.3	2.8	2.3	1.0	0.9	1,734
第14週	26.1	32.5	9.4	3.4	2.8	8.9	4.9	4.2	5.5	1.1	1.1	788
第15週	31.2	23.4	10.0	3.5	3.7	8.7	6.3	7.4	4.1	1.5	0.2	461
第16週	20.4	40.3	15.3	3.2	3.1	4.9	4.3	3.7	2.9	0.6	1.2	648

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第14週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第10週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は青森県(12.28)、岩手県(12.27)、福井県(12.16)である。年齢別では0歳(17例)、1~9歳(119例)、10代(15例)、20代(2例)、30代(13例)、40代(6例)、50代(14例)、60代(17例)、70代(40例)、80歳以上(78例)であった。RSウイルス感染症: 報告数は502例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。咽頭結膜熱: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は島根県(1.43)、鹿児島県(0.91)、石川県(0.83)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は第10週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(3.47)、新潟県(3.21)、富山県(2.83)である。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(11.19)、宮崎県(11.11)、愛媛県(10.92)である。水痘: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.00)、福井県(2.45)、石川県(2.14)である。基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(1.20)、青森県(0.88)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 定点当たり報告数は2週連続で減少した。31都道府県から123例報告があり、年齢別では0歳(23例)、1~4歳(85例)が報告された。